

平成 23 年度

一般廃棄物処理の現況

(平成 25 年 2 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課

目 次

I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量.....	1
(2) 各地区の状況.....	2
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 全県の状況.....	4
(2) 各地区の状況.....	5
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 全県の状況.....	9
(2) 各地区の状況.....	10
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 全県の状況.....	23
(2) 各地区の状況.....	24
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置	28
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口.....	33
(2) し尿処理の状況.....	34
(3) し尿処理施設.....	35
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	36
(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	36
(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要.....	36
7-2 廃棄物処理事業従事職員.....	40
7-3 委託・許可件数.....	40
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	40
8. ダイオキシン類対策等の状況	41

I 概要編

1. ごみ処理の概要

(1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表 1-1 及び図 1-1 に、計画収集人口の割合を図 1-2 に示す。

平成 23 年度における県内のごみ総排出量は 247,656t であり、前年に比べ約 2.3%の増加となっている。

計画収集人口は 716,331 人で総人口の 99.9%となっている。1 人 1 日当たりごみ排出量は 944g で、前年より 25g 増加している。

ごみ総排出量及び 1 人 1 日当たりごみ排出量は平成 21 年度までは減少傾向が続いていたが、平成 22 年度以降増加している。

表1-1 ごみ排出量と処理の推移

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
総人口(人)	739,982	732,013	728,413	722,177	717,167
計画収集人口	737,579	729,645	725,900	719,717	716,331
自家処理人口	2,403	2,368	2,513	2,460	836
計画収集率(%)	99.7	99.7	99.7	99.7	99.9
ごみ総排出量(t/年)	255,790	241,355	237,847	242,161	247,656
計画収集量	206,292	195,999	192,308	210,928	215,029
直接搬入量	47,115	42,911	43,187	28,938	30,259
集団回収量	2,383	2,445	2,352	2,295	2,368
ごみ総処理量(t/年)	253,383	239,034	234,430	239,738	245,076
直接焼却	167,034	163,595	160,545	159,726	171,231
焼却以外	79,911	70,148	66,987	72,818	68,795
直接埋立	6,438	5,291	6,898	7,194	5,050
1人1日当たり ごみ排出量 (g)	944	903	895	919	944

注) 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の内数

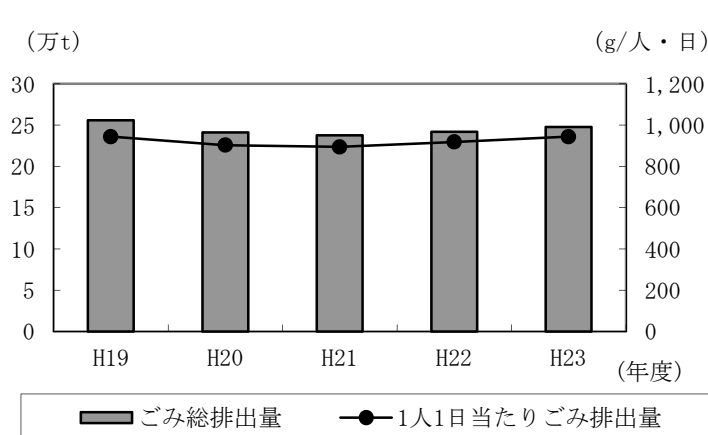


図1-1 ごみ総排出量の推移

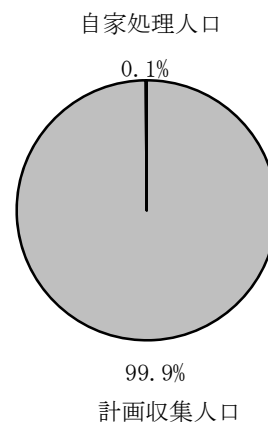


図1-2 計画収集人口の割合

注) ごみ総排出量 (t/年) = 計画収集量 + 直接搬入量 + 集団回収量

ごみ総処理量 (t/年) = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立量

1 人 1 日 当 たり ご み 排 出 量 (g/人・日) = ごみ総排出量 / 総人口 / 365 日 (366 日) × 10⁶

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。平成 23 年度末に焼却施設の更新を行った。

②安来市

可燃ごみ処理は、平成 19 年 4 月 25 日より焼却施設を休止し、民間業者へ委託処理している。

当地区のごみ総排出量は 91,273t、処理量合計は 90,938t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 1,003g と県平均の 944g を上回っている。

<出雲地区>

①奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②雲南市・飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村・旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

③出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 79,595t、処理量合計は 78,087t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 921g と県平均の 944g を下回っている。

<浜田地区>

①大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

②川本町・美郷町・邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

③浜田市・江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

④益田市・津和野町・吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

当地区のごみ総排出量は 66,166t、処理量合計は 65,429t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 859g と県平均の 944g を下回っている。

< 隠岐地区 >

① 隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

② 海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

③ 西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④ 知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 10,622t、処理量合計は 10,622t であり、1 人 1 日当たり
ごみ排出量は 1,332g と県平均の 944g を大きく上回っている。

表 1-2 各地区のごみ総排出量と処理内訳

区 分	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区
総人口(人)	248,753	236,199	210,425	21,790
計画収集人口	248,753	235,543	210,245	21,790
自家処理人口	0	656	180	0
計画収集率(%)	100.0%	99.7%	99.9%	100%
ごみ総排出量(t/年)	91,273	79,595	66,166	10,622
計画収集量	83,065	70,446	57,082	4,436
直接搬入量	7,873	7,641	8,559	6,186
集団回収量	335	1,508	525	0
ごみ総処理量(t/年)	90,938	78,087	65,429	10,622
直接焼却	63,646	51,233	47,864	8,488
焼却以外	27,032	22,339	17,539	1,885
直接埋立	260	4,515	26	249
1人1日当たり ごみ排出量 (g)	1,003	921	859	1,332

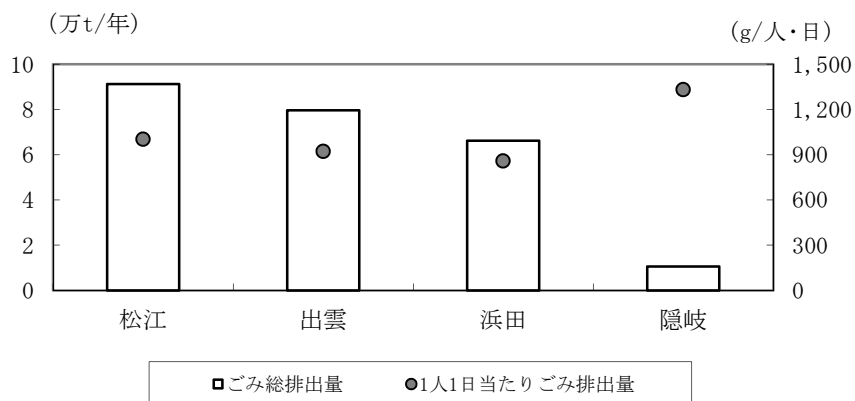


図1-3 ブロック別ごみ排出量

2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

(1) 全県の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

平成 23 年度に市町村から排出されたごみ量は 247,656t であり、収集内訳は、可燃ごみ 73.0%、不燃ごみ 6.0%、資源ごみ 20.5%、粗大ごみ 0.5%、その他は 0.1%未満であった。

処理内訳では、171,231t(69.9%)は直接焼却され、68,795t(28.1%)は破砕・圧縮等の焼却以外の中間処理、残りの 5,050t(2.1%)は直接埋立とされている。

県全体で 62,671t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 65,039t が資源化された。

表 2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

県全体		平成23年度	
計画収集量		215,029	
収集内訳	可燃ごみ	156,997	
	不燃ごみ	12,879	
	資源ごみ	44,098	
	その他	17	
	粗大ごみ	1,038	
直接搬入量		30,259	
集団回収量		2,368	
総排出量		247,656	
自家処理量		657	
処理内訳	中間	直接焼却	171,231
		焼却以外	68,795
	最終処分	直接埋立	5,050
		焼却残渣	10,641
		破砕圧縮残渣	7,390
	資源化		62,671
処理合計		245,076	
リサイクル率 (%)		26.3	
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		944	

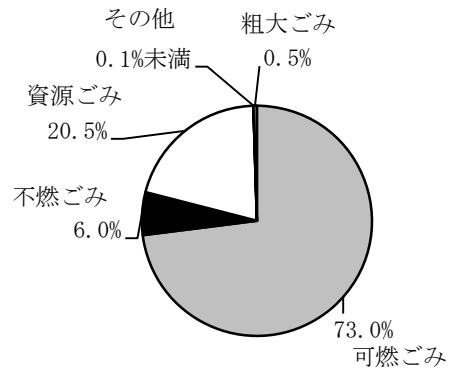
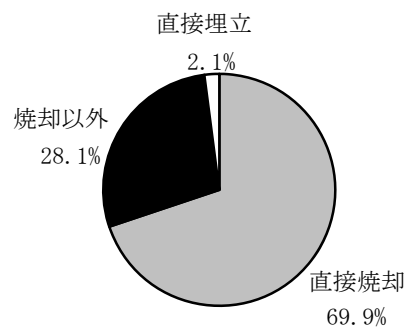


図2-1 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-2 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

(2) 各地区の状況

< 松江地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

平成 23 年度に当地区内から排出されたごみ量は 91,273t であり、収集内訳は、可燃ごみ 68.9%、不燃ごみ 2.4%、資源ごみ 28.0%、粗大ごみ 0.7%であった。

処理内訳では、63,646t (70.0%) が直接焼却され、27,032t (29.7%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの 260t (0.3%) は直接埋立とされている。

当地区全体で 29,660t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 29,995t が資源化された。

表 2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

松江地区		平成23年度	
計画収集量		83,065	
収集内訳	可燃ごみ	57,221	
	不燃ごみ	1,992	
	資源ごみ	23,291	
	その他	0	
	粗大ごみ	561	
直接搬入量		7,873	
集団回収量		335	
総排出量		91,273	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	63,646
		焼却以外	27,032
	最終処分	直接埋立	260
		焼却残渣	1,839
		破碎圧縮残渣	463
	資源化		29,660
	処理合計		90,938
リサイクル率 (%)		32.9	
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		1,003	

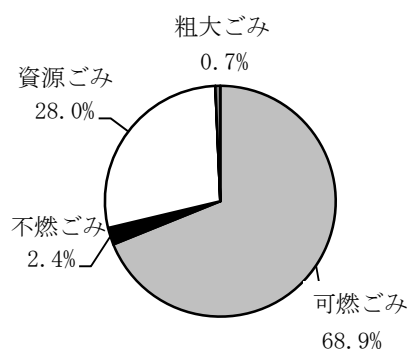


図2-3 ごみの収集内訳

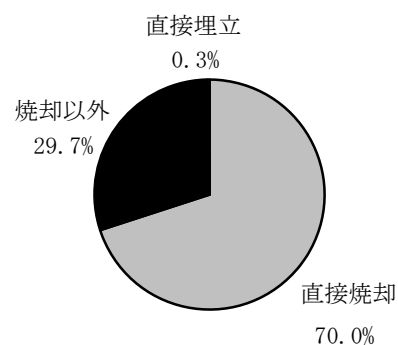


図2-4 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<出雲地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-3、ごみの収集内訳を図 2-5、ごみの処理内訳を図 2-6 に示す。

平成 23 年度に当地区内から排出されたごみ量は 79,595t であり、収集内訳は、可燃ごみ 75.9%、不燃ごみ 10.0%、資源ごみ 14.0%、粗大ごみ 0.1%、その他 0.1% 未満であった。

処理内訳では、51,233t (65.6%) が直接焼却され、22,339t (28.6%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 4,515t (5.8%) は直接埋立とされている。

当地区全体で 17,238t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 18,746t が資源化された。

表 2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

出雲地区		平成23年度	
計画収集量		70,446	
収集内訳	可燃ごみ	53,454	
	不燃ごみ	7,062	
	資源ごみ	9,864	
	その他	17	
	粗大ごみ	49	
直接搬入量		7,641	
集団回収量		1,508	
総排出量		79,595	
自家処理量		389	
処理内訳	中間	直接焼却	51,233
		焼却以外	22,339
	最終処分	直接埋立	4,515
		焼却残渣	4,912
		破碎圧縮残渣	2,160
	資源化		17,238
	処理合計		78,087
リサイクル率 (%)		23.6	
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		921	

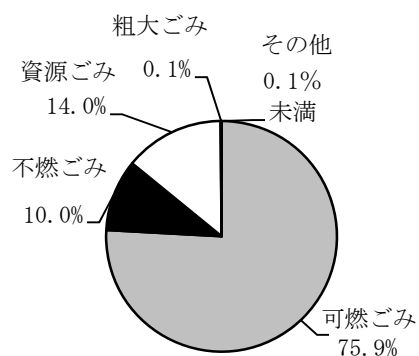


図2-5 ごみの収集内訳

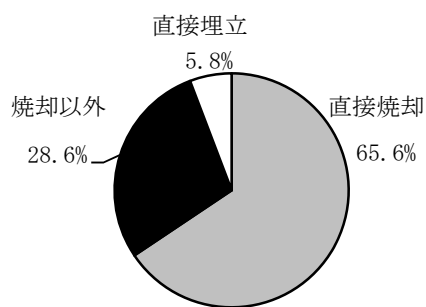


図2-6 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<浜田地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-4、ごみの収集内訳を図 2-7、ごみの処理内訳を図 2-8 に示す。

平成 23 年度に当地区内から排出されたごみ量は 66,166t であり、収集内訳は、可燃ごみ 74.5%、不燃ごみ 6.3%、資源ごみ 18.6%、粗大ごみ 0.6%であった。

処理内訳では、47,864t (73.2%)が直接焼却され、17,539t (26.8%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 26t (0.1%未満)は直接埋立とされている。

当地区全体で 15,029t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 15,554t が資源化された。

表 2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

浜田地区		平成23年度	
計画収集量		57,082	
収集内訳	可燃ごみ	42,522	
	不燃ごみ	3,580	
	資源ごみ	10,618	
	その他	0	
	粗大ごみ	362	
直接搬入量		8,559	
集団回収量		525	
総排出量		66,166	
自家処理量		268	
処理内訳	中間	直接焼却	47,864
		焼却以外	17,539
	最終処分	直接埋立	26
		焼却残渣	2,304
		破碎圧縮残渣	3,719
	資源化		15,029
処理合計		65,429	
リサイクル率 (%)		23.6	
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		859	

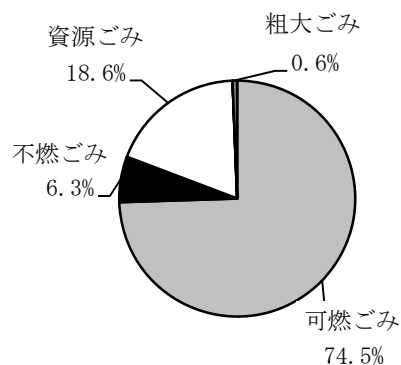


図2-7 ごみの収集内訳

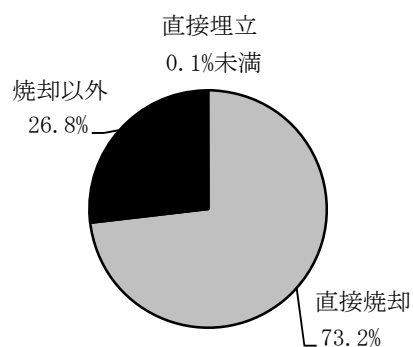


図2-8 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100
 処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

< 隠岐地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

平成 23 年度に当地区内から排出されたごみ量は 10,622t であり、収集内訳は、可燃ごみ 85.7%、不燃ごみ 5.5%、資源ごみ 7.3%、粗大ごみ 1.5%であった。

処理内訳では 8,488t (79.9%) が直接焼却され、1,885t (17.7%) は破碎・圧縮等焼却以外
の中間処理、残り 249t (2.3%) は直接埋立とされている。

当地区全体で 744t がごみから分別・資源化された。

表 2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

隠岐地区		平成23年度	
計画収集量		4,436	
収集内訳	可燃ごみ	3,800	
	不燃ごみ	245	
	資源ごみ	325	
	その他	0	
	粗大ごみ	66	
直接搬入量		6,186	
集団回収量		0	
総排出量		10,622	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	8,488
		焼却以外	1,885
	最終処分	直接埋立	249
		焼却残渣	1,586
		破碎圧縮残渣	1,048
	資源化		744
処理合計		10,622	
リサイクル率 (%)		7.0	
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,332	

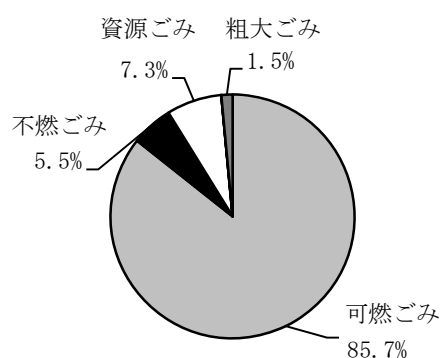
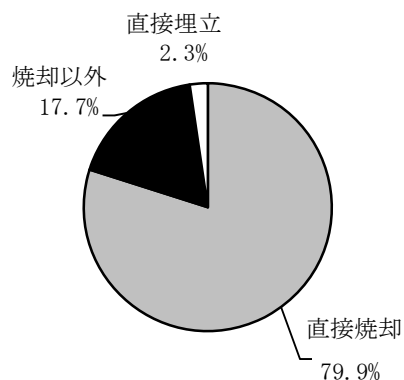


図2-9 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-10 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100
処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

3. ごみ処理施設の状況

(1) 全県の状況

平成 23 年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-1、2 に示す。

県内の稼働中のごみ焼却施設は 10 施設(処理能力 708.56 t/日)、ごみ燃料化施設は、1 施設(処理能力 30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は 2 施設、資源化等施設は 22 施設、粗大ごみ処理施設は 13 施設、保管施設は 15 施設である。

埋立中の最終処分場は 28 施設あり、全体埋立容量は 1,984,853m³、残余容量は 738,103 m³となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 ^{※1}	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ焼却施設	10	708.56	—
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	2	60	—
資源化等の施設	22	242.57	—
粗大ごみ処理施設	13	248.9	—
保管施設	15	25,238(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場	28	1,984,853 (m ³)	738,103 (m ³)

※1. 埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成 23 年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却		ガス化溶解	ごみ燃料化 (RDF)	合計
	全連続	バッチ	全連続		
炉型式	全連続	バッチ	全連続		
施設数	1	6	3	1	11
規模 (t/日)	62	75.56	571	30	738.56

※ごみ燃料化施設 (RDF) 及びガス化溶解施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

松江市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-3、4 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 255 t/日)にて、全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は 8 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 6 施設あり、全体埋立容量は 767,541m³、残余容量は 135,275m³となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ焼却施設	1	255	—
資源化等の施設	8	109.4	—
粗大ごみ処理施設	1	59	—
保管施設	2	13,730 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場 ^{※2}	6	767,541 (m ³)	135,275 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 23 年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
松江市	エコクリーン松江	255	ガス化溶融	全連続

②安来市

安来市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-5、6 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 52 t/日)で平成 19 年 4 月 25 日より休止中である。

粗大ごみ処理施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 99,304m³、残余容量は 54,488m³となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
粗大ごみ処理施設	3	30.9	—
最終処分場	3	99,304 (m ³)	54,488 (m ³)

表3-6 焼却施設の状況 (休止中)

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
安来市	安来市 清瀬クリーンセンター	52	焼却	准連続

※1. ごみ焼却施設は平成 19 年 4 月 25 日より休止中。

<出雲地区>

①奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-7、8に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力20t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は61,800m³、残余容量は33,696m³となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H24.3月末)
ごみ焼却施設	1	20	—
粗大ごみ処理施設	1	7	—
保管施設	1	915(t/年度) ^{*1}	—
最終処分場 ^{*2}	1	61,800(m ³)	33,696(m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成23年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物処理センター	20	焼却	バッチ

②雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表3-9～11に示す。

雲南市のうち旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村・旧掛合町・飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は2施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は41,300m³、残余容量は25,812m³となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	1	15	—
資源化等の施設	2	14.9	—
保管施設	2	582(t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	3	41,300 (m ³)	25,812 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成23年度保管量である。

表3-10 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-11 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいしクリーンセンター	15	圧縮・梱包

③出雲市

出雲市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-12、13 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 218 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等施設は 3 施設、粗大ごみ処理施設は 3 施設、保管施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 4 施設あり、全体埋立容量は 528,231m³、残余容量は 318,013m³となっている。

表3-12 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ焼却施設	1	218	—
資源化等の施設	3	75	—
粗大ごみ処理施設	3	83	—
保管施設	3	6,321(t/年度) ^{※1}	—
最終処分場 ^{※2}	4	528,231 (m ³)	318,013 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 23 年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-13 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲 エネルギーセンター	218	ガス化溶融 (キルン式)	全連続

<浜田地区>

①大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-14、15 に示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、破碎・圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は 4 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 4 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 112,648m³、残余容量は 3,640m³となっている。

表3-14 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
中継施設	1	45	—
資源化等の施設	4	13	—
粗大ごみ処理施設	1	25	—
保管施設	4	1,512 (t/年度) [※]	—
最終処分場	3	112,648 (m ³)	3,640 (m ³)

※保管施設の処理能力は、平成 23 年度保管量である。

表3-15 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	処理内容
大田市	大田可燃物中間処理施設	45	破碎・圧縮・梱包

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-16、17に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力12t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は14,300m³、残余容量は6,495m³となっている。

表3-16 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ焼却施設	1	12	—
資源化等の施設	1	1.7	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	1,282(t/年度)*	—
最終処分場	1	14,300 (m ³)	6,495 (m ³)

*保管施設の処理能力は、平成23年度保管量である。

表3-17 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	笹畑クリーンセンター ごみ焼却施設	12	焼却	バッチ

③浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-18、19 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 105,000m³、残余容量は 70,316m³となっている。

表3-18 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ焼却施設	1	98	—
資源化等の施設	1	2.77	—
粗大ごみ処理施設	2	34	—
最終処分場※	2	105,000 (m ³)	70,316(m ³)

※埋立が終了した施設は含まない。

表3-19 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域 行政組合	エコクリーンセンター	98	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

④益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-20、21 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 62 t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は 2 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 149,729m³、残余容量は 28,137m³となっている。

表3-20 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ焼却施設	1	62	—
資源化等の施設	2	22.1	—
保管施設	1	853(t/年度) ^{※1}	—
最終処分場 ^{※2}	2	149,729 (m ³)	28,137 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 23 年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-21 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
益田地区広域 市町村圏事務組合	益田地区広域 クリーンセンター	62	焼却	全連続

<隠岐地区>

①海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-22、23 に示す。

海士町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 7t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 12,000m³、残余容量は 6,737m³となっている。

表3-22 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ焼却施設	1	7	—
資源化等の施設	1	1	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	43 (t/年度)*	—
最終処分場	1	12,000 (m ³)	6,737 (m ³)

*保管施設の処理能力は、平成 23 年度保管量である。

表3-23 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町清掃センター	7	焼却	バッチ

②西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-24、25 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 10t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 13,000m³、残余容量は 3,114m³となっている。

なお、資源ごみは海士町の資源化施設にて処理している。

表3-24 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ焼却施設	1	10	—
最終処分場	1	13,000 (m ³)	3,114 (m ³)

表3-25 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	西ノ島町ごみ焼却場 清美苑	10	焼却	バッチ

③知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-26、27 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-26 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ焼却施設	1	1.56	—

表3-27 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知 夫 村	知夫村ゴミ焼却場	1.56	焼却	バッチ

④隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-28、29 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 25 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 80,000m³、残余容量は 52,380m³となっている。

表3-28 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H24.3月末)
ごみ焼却施設	1	25	—
資源化等の施設	1	2.7	—
最終処分場※	1	80,000 (m ³)	52,380 (m ³)

※埋立が終了した施設は含まない。

表3-29 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

4. ごみ減量化・資源化状況

(1) 全県の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

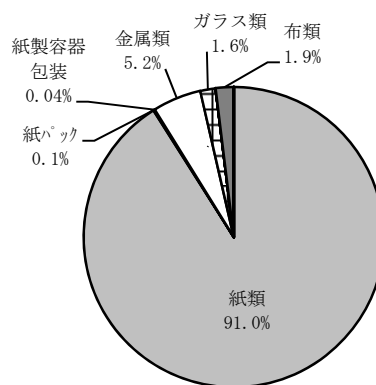
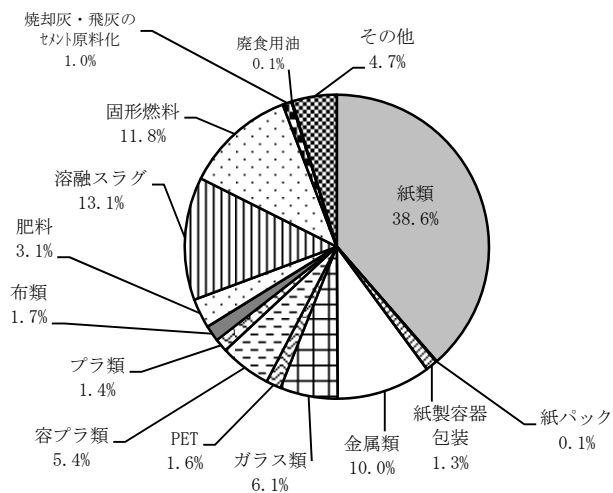
平成23年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は62,671tであった。その内、紙類が24,172t(38.6%)で最も多く、次に、溶融スラグ8,201t(13.1%)、固形燃料7,404t(11.8%)であった。

また、集団回収により資源された量は2,368tであり、紙類が2,155t(91.0%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	24,172	51	786	6,269	3,837	1,003	3,413	874
集団回収	2,155	3	1	124	39	0	0	0

区分	布類	肥料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	1,071	1,969	8,201	7,404	603	47	2,971	62,671
集団回収	46	-	-	-	-	0	0	2,368



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-1 市町村による資源化の内訳

図4-2 集団回収の内訳

(2) 各地区の状況

<松江地区>

当地区における資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3、集団回収の内訳を図4-4に示す。

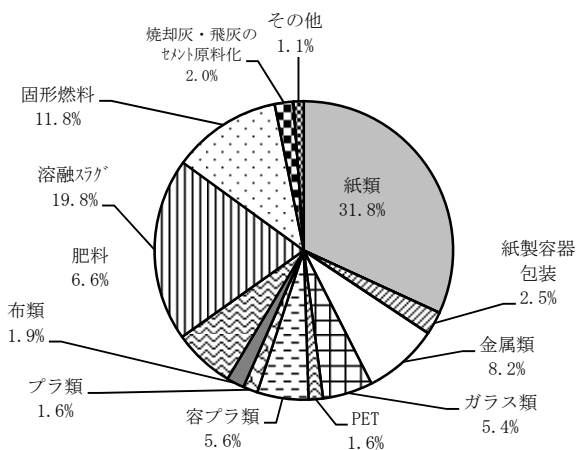
平成23年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は29,660tであった。その内、紙類が9,444t(31.8%)で最も多く、次に、熔融スラグ5,883t(19.8%)、固形燃料3,514t(11.8%)であった。

また、集団回収により資源化された量は335tであり、すべてが紙類である。

表4-2 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	9,444	6	736	2,424	1,608	461	1,648	470
集団回収	335	0	0	0	0	0	0	0

区分	布類	肥料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	566	1,969	5,883	3,514	603	0	328	29,660
集団回収	0	-	-	-	-	0	0	335



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-3 市町村による資源化の内訳

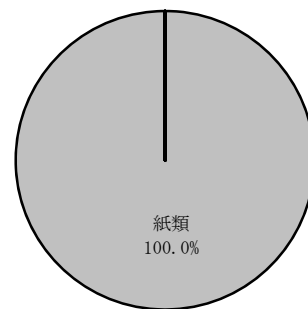


図4-4 集団回収の内訳

<出雲地区>

当地区における資源化の状況を表4-3、市町村による資源化の内訳を図4-5、集団回収の内訳を図4-6に示す。

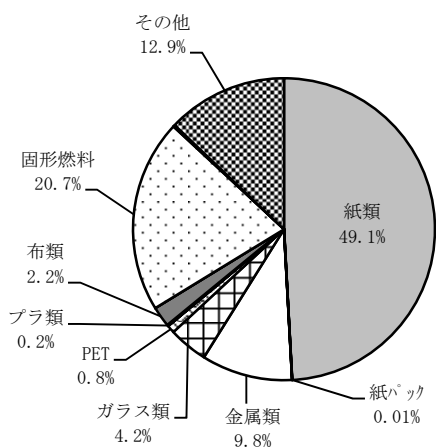
平成23年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は17,238tであった。その内、紙類が8,470t(49.1%)で最も多く、次に固形燃料3,560t(20.7%)、その他2,222t(12.9%)であった。

また、集団回収により資源化された量は1,508tであり、紙類が1,367t(90.6%)とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況

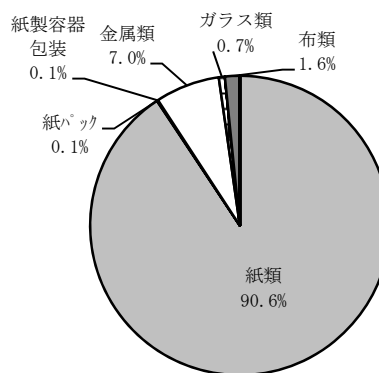
区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	8,470	1	0	1,682	723	144	0	27
集団回収	1,367	1	1	105	10	0	0	0

区分	布類	肥料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	375	0	0	3,560	0	34	2,222	17,238
集団回収	24	-	-	-	-	0	-	1,508



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-5 市町村による資源化の内訳



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-6 集団回収の内訳

<浜田地区>

当地区における資源化の状況を表4-4、市町村による資源化の内訳を図4-7、集団回収の内訳を図4-8に示す。

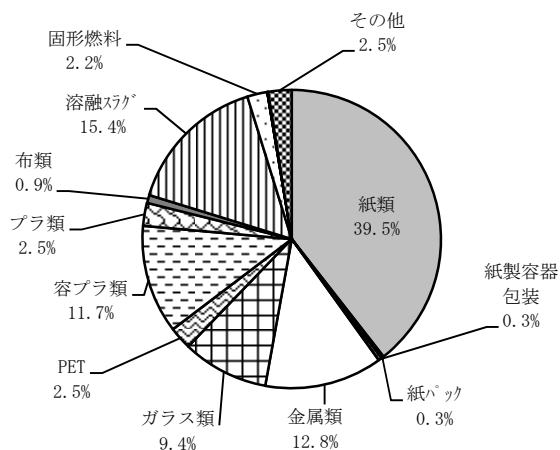
平成23年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は15,029tであった。その内、紙類が5,929t(39.5%)で最も多く、次に熔融スラグ2,318t(15.4%)、金属類1,920t(12.8%)であった。

また、集団回収により資源化された量は525tであり、紙類が453t(86.3%)とほとんどを占めている。

表4-4 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	5,929	44	50	1,920	1,406	370	1,765	374
集団回収	453	2		19	29	0	0	0

区分	布類	肥料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	130	0	2,318	330	0	13	380	15,029
集団回収	22	-	-	-	-	0	0	525



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-7 市町村による資源化の内訳

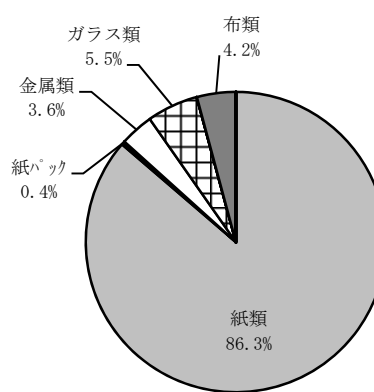


図4-8 集団回収の内訳

< 隠岐地区 >

隠岐地区における資源化の状況を表 4-5、市町村による資源化の内訳を図 4-9 に示す。

平成 23 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 744t であった。その内、紙類が 329t (44.2%) で最も多く次に金属類 243t (32.7%)、ガラス類 100t (13.4%) であった。

なお、集団回収は行われていない。

表4-5 資源化の状況

区 分	紙類	紙パック	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装 プラ	プラ類
市町村	329	0	0	243	100	28	0	3

区 分	布類	肥料	溶融 スラグ	固形 燃料	焼却灰・飛 灰のセメン ト原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	0	-	-	-	-	0	41	744

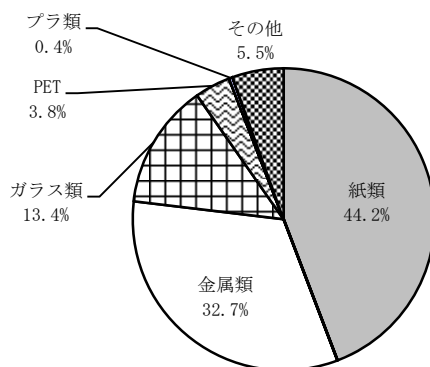


図4-9 市町村による資源化の内訳

5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

平成24年度（平成25年1月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況（生活系、事業系）について表5-2～4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-5、事業予算額の内訳について図5-1に示す。

資源ごみ団体回収への助成や生ごみ堆肥化装置の設置助成に予算が多く使われている。

表5-1 平成24年度（平成25年1月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業

事業類型	事業名	自治体数	当初予算額(千円)
啓発資料作成等	パンフレット作成	4	1,562
イベント等の開催	イベントの開催	5	1,301
住民と事業者との連携	廃棄物減量化等協議会開催	3	3,121
ごみ減量化に関する助成	資源ごみ団体回収への助成	4	4,689
	生ごみ堆肥化装置の設置補助	8	7,107
	資源ごみ回収機器の貸出	1	0
啓発事業等	不法投棄防止事業	8	4,135
	リサイクル啓発事業	1	710
	ボランティア活動への支援	1	2
	CATVでの啓発	2	350
合 計		37	22,977

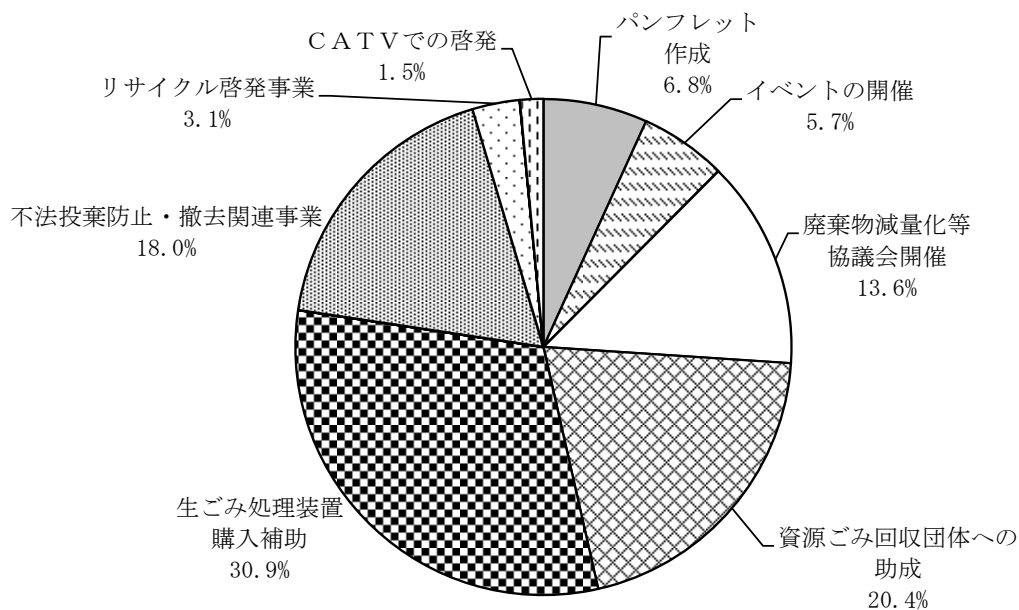


図5-1 平成24年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成24年度(平成25年1月1日現在)

区分 市町村	ごみ区分	色	容量	値段	材質
				1枚あたり	
松江市	可燃	半透明(さくら色)	10/20/30/45ℓ	10/20/30/40円	高密度ポリエチレン
	資源	透明	20/30/45ℓ	14/16/19円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	緑	10/20/50ℓ	21/31.5/42円	中密度ポリエチレン
	不燃	青	5/10/20/50ℓ	10.5/21/31.5/42円	低密度ポリエチレン
	資源(びん) 資源(缶) 資源(ペットボトル)	灰色 橙 水色	10/20/50ℓ	21/31.5/42円	低密度ポリエチレン
出雲市	可燃	白色(緑字)	10/25/45ℓ	15/30/50円	高密度ポリエチレン
	不燃(破碎ごみ)	黄色(緑字)	25/45ℓ	30/50円	低密度ポリエチレン
	不燃(埋立ごみ)	赤色(緑字)			
	資源	透明(青字)	25/45ℓ	5/10円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃(大)	半透明(黄色)	800×600/420mm	60円	高密度ポリエチレンローションLL(柔軟材)
	可燃(小)	半透明(黄色)	700×540/350mm	40円	10%混入
	可燃(小)	半透明(黄色)	590×480/330mm	30円	
	不燃	半透明(薄色)	870×650/460mm	50円	低密度ポリエチレン
	不燃	半透明(薄色)	700×550/390mm	30円	
資源	透明(無色)	870×650/460mm 700×540/350mm	20円 15円	低密度ポリエチレン	
大田市	可燃	透明(黄)	20/30/45ℓ	25/30/50円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	20/30/45ℓ	30/50円	低密度ポリエチレン
	資源	無色透明(白)	30/45ℓ	15/20円	低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45ℓ	25/35/45円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(無色)	15/30/45ℓ	25/30/35円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(無色)	15/30/45ℓ	25/30/35円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	半透明(黄)	15/30/45ℓ	15/20/30円	高密度ポリエチレン
雲南市	可燃	半透明(黄)	20/40ℓ	30/44円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	乳白色(青字)	30/45ℓ	無料配布	高密度ポリエチレン
	不燃	透明 (青字, 緑字, 黄字)	30/45ℓ	(一定枚数以上は 21円)	低密度ポリエチレン
	資源	透明(赤字)	30/45ℓ		低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄)	20/30/40/45ℓ	30/42/44/63円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/40ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
川本町	可燃	半透明(白)	15/35ℓ	31.5/63円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	45ℓ	31.5円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ		
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ	15.7円	高密度ポリエチレン
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	157円/1シート5枚	紙	
美郷町	可燃	半透明(白)	15/35ℓ	31.5/63円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ		
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ	15.7円	高密度ポリエチレン
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	157円/1シート5枚	紙	

注) 1. 材質は市町村の調査結果を記載している。

2. 一定枚数無料配布している自治体も含む。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成24年度(平成25年1月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
邑南町		可燃	半透明(白)	15/35ℓ	31.5/63円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5円	高密度ポリエチレン
		資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ	15.7円	高密度ポリエチレン
		資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
		資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ		
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
		資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	157円/1シート5枚	紙		
津和野町		可燃	半透明(オレンジ)	290×750mm 490×800mm	30/50円	高密度ポリエチレン
		資源(容包プラ)	透明(桃色文字)	290×750mm 490×800mm	30/50円	高密度ポリエチレン
		(商品プラ)	透明(黄文字)			
		(缶類)	透明(黒文字)			
(びん類)	透明(青文字)					
吉賀町		可燃	半透明(赤字)	800×600mm	50円	高密度ポリエチレン
		〃	〃	650×500mm	33.3円	高密度ポリエチレン
		不燃(ビン)	半透明(青字)	400×600mm	50円	低密度ポリエチレン
		(カン)	半透明(黒字)	650×800mm	〃	低密度ポリエチレン
資源(容プラ)	半透明(ピンク字)	650×800mm	50円	高密度ポリエチレン		
資源(商プラ)	半透明(黄字)	〃	〃	〃		
海士町		可燃	チケット		70円	紙
		不燃	チケット		70円	紙
		資源	チケット		70円	紙
知夫村		可燃	透明(黄色)	15/20/30ℓ	30/60/100円	フェコサイト [®]
		不燃	券		200/1000円券	
		資源(ビン)	透明(黄色)	30ℓ	140円	フェコサイト [®]
		資源(カン)	〃	45ℓ	140円	
資源(ペット)	〃	30/45ℓ	70/140円			
西ノ島町		可燃	チケット		80円	紙
		不燃	チケット		80円	紙
隠岐の島町		可燃	チケット(2色刷)	10kg以内/枚	100円	上質紙90kg 玉紙+針金#30(20mm)
		不燃	チケット(2色刷)	10kg以内/枚	100円	上質紙90kg 玉紙+針金#30(20mm)
		資源	半透明	690×550mm	無料	高密度ポリエチレン
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エネルギー センター)		可燃	半透明(オレンジ)	20/40ℓ(手さげ型)	30/44円	高密度ポリエチレン0.025mm
		不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン0.04mm
		資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン0.04mm
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリーン センター)		可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	42/63円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40ℓ	30/44円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
鹿足郡不燃物 処理組合		不燃	半透明	45ℓ	50円	高密度ポリエチレン

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成24年度(平成25年1月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容 量	値段	材 質
					1枚あたり	
松江市		可燃	半透明(白)	30/45ℓ	自由設定	炭酸カルシウム入り高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄)	30/45ℓ	自由設定	低密度ポリエチレン
浜田市		可燃	黄	50ℓ	84円	中密度ポリエチレン
		不燃	桃	50ℓ	84円	低密度ポリエチレン
		資源	茶	50ℓ	42円	低密度ポリエチレン
出雲市		可燃	白色(緑字)	45ℓ	120円	高密度ポリエチレン
		不燃	黄色(緑字) 赤色(緑字)	45ℓ	120円	低密度ポリエチレン
益田市		可燃	半透明(青)	800×600/420mm	100円	高密度ポリエチレン
大田市		可燃	半透明(緑)	45ℓ	100円	高密度ポリエチレン
安来市		可燃	半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45ℓ	25/35/45円 100円	高密度ポリエチレン
		不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45ℓ	25/30/35円 100円	低密度ポリエチレン
江津市		可燃・不燃	半透明(黄)	15/30/45ℓ	15/20/30円	高密度ポリエチレン
奥出雲町		可燃	乳白色(青字)	30/45ℓ	無料	高密度ポリエチレン
		不燃	透明 (青字, 緑字, 黄字)	30/45ℓ	無料	低密度ポリエチレン
		資源	透明(赤字)	30/45ℓ	無料	低密度ポリエチレン
飯南町		可燃	半透明(黄)	20/30/40/45ℓ	30/42/44/63円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	30/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	30/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
津和野町		可燃	オレンジ	290×750mm 490×800mm	30/50円	高密度ポリエチレン
		資源(容づら)	桃	290×750mm	30/50円	高密度ポリエチレン
		(商品づら)	黄	290×750mm	〃	〃
		(缶類)	黒緑	490×800mm	〃	低密度ポリエチレン
吉賀町		可燃	半透明(赤字)	800×600mm	50円	高密度ポリエチレン
		〃	〃	650×500mm	33.3円	〃
		不燃(ビン)	半透明(青字)	400×600mm	50円	低密度ポリエチレン
		(カン)	半透明(黒字)	650×800mm	〃	〃
海士町		可燃	チケット		70円	紙
		不燃	チケット		70円	紙
西ノ島町		可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	42/63円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリーン センター)		可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	42/63円	高密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ処理機等の購入に対する補助(平成24年度)

市町村名	補助基準	備 考
松江市	補助率 1/3、上限 100 万円	事業者
浜田市	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
出雲市 (斐川地区)	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/2、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり2基まで)
益田市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 15 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
大田市	補助率 1/2、上限 3 千円	1世帯当たり2基まで
安来市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 25 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
川本町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
津和野町	補助率 1/2、上限 3.5 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
西ノ島町	補助率 1/2、上限 20 千円(町内購入) 補助率 1/3、上限 10 千円(町外購入)	1世帯当たり1基まで

6. し尿処理の概要

(1) 衛生処理人口

県内のし尿処理人口及び処理量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

平成 23 年度における県内の水洗化人口は、545,559 人(76%)、非水洗化人口は、171,608 人(24%)である。水洗化人口は前年の約 0.2%増で、平成 19 年度と比べると約 5%増加している。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
総人口(人)	739,982	732,013	728,413	722,177	717,167
水洗化人口(人)	519,728	535,349	536,519	544,297	545,559
下水道人口(人)	238,931	252,546	254,405	261,788	263,304
コミュニティ・プラント人口(人)	4,588	4,644	4,608	4,538	4,503
浄化槽人口(人)	276,209	278,159	277,506	277,971	277,752
非水洗化人口(人)	220,254	196,664	191,894	177,880	171,608
計画収集人口(人)	211,251	190,201	186,836	172,756	166,890
自家処理人口(人)	9,003	6,463	5,058	5,124	4,718
総処理量(kℓ/年)	310,896	304,095	301,390	288,040	287,066
し尿計画処理量(kℓ/年)	131,573	123,798	118,747	111,061	107,782
自家処理量(kℓ/年)	5,684	3,885	3,461	2,748	3,532
浄化槽汚泥計画処理量(kℓ/年)	173,639	176,412	179,182	174,231	175,752

注) 総人口=水洗化人口+非水洗化人口
 水洗化人口=下水道人口+コミュニティ・プラント人口+浄化槽人口
 非水洗化人口=計画収集人口+自家処理人口

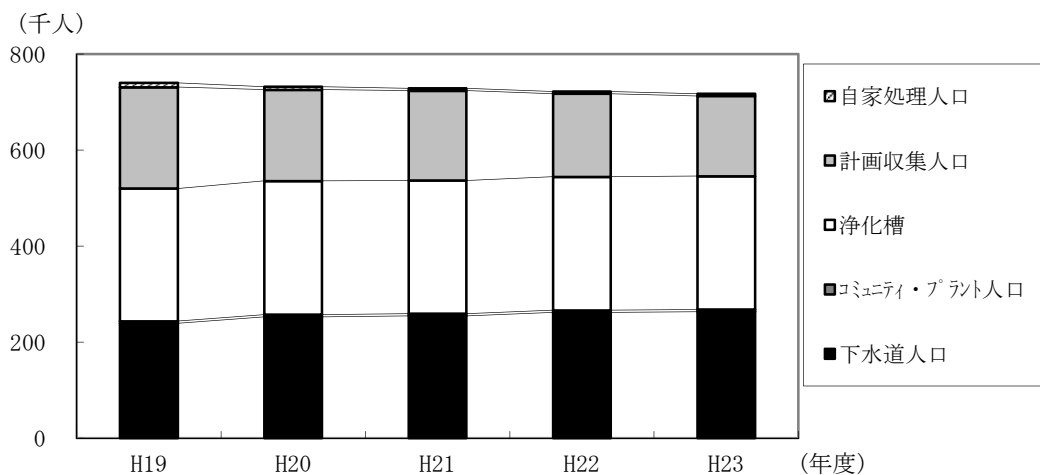
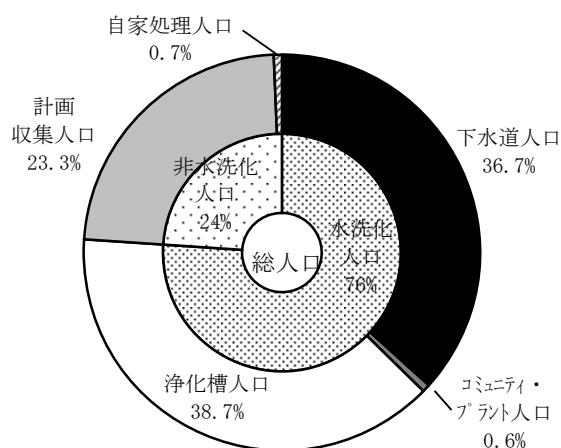


図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口=水洗化人口+非水洗化人口
 水洗化人口=公共下水道人口+コミュニティ・プラント人口+浄化槽人口
 非水洗化人口=計画収集人口+自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、総処理量の内訳を図6-3に示す。

平成23年度における県内の総処理量は、287,066klで、前年より約0.3%減少している。内訳は浄化槽汚泥計画処理量が61.2%、し尿計画処理量が37.5%、自家処理量1.2%となっている。

1人1日当たりし尿計画処理量は1.76ℓ/人・日、1人1日当たり浄化槽汚泥処理量は1.70ℓ/人・日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分		平成23年度
総処理量 (kl/年)		287,066
内訳	し尿計画処理量	107,782
	自家処理量	3,532
	浄化槽汚泥計画処理量	175,752
し尿計画処理量 (kl/年)		107,782
内訳	下水道投入	142
	し尿処理施設	107,622
	農村還元	18
浄化槽汚泥計画処理量 (kl/年)		175,752
内訳	下水道投入	580
	し尿処理施設	175,097
	農村還元	75
1日1人当たりし尿計画処理量 (ℓ/人・日)		1.76
1日1人当たりし尿排出量 (ℓ/人・日)		1.77
1日1人当たり浄化槽汚泥処理量 (ℓ/人・日)		1.70

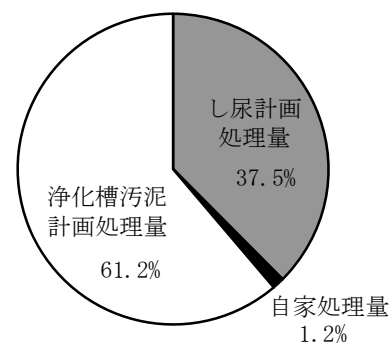


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kl/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥計画処理量

1人1日当たりし尿計画処理量 (ℓ/人・日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 366日 × 10³

1人1日当たりし尿排出量 (ℓ/人・日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 366日 × 10³

1人1日当たり浄化槽汚泥処理量 (ℓ/人・日) = 浄化槽汚泥処理量 / (浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口) / 366日 × 10³

(3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

平成 23 年度の県内のし尿処理施設数は 12 施設（処理能力 856kl/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 8 施設（計画最大汚水量 2,334m³/日）である。

浄化槽設置数は合計 68,432 基で、去年より 164 基増加している。

平成 23 年度の浄化槽設置基数(個人設置型)は 596 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設						コミュニティ・プラント
	好二段	標 脱	高負荷	高負荷膜分離	高負荷一次処理	合計	
処 理 方 式							
施 設 数	1	2	5	3	1	12	8
規 模 (k l / 日)	40	117	268	361	70	856	2,334

注1) 好二段……好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式
 標脱…標準脱窒素処理方式（旧低二段）
 高負荷……高負荷脱窒素処理方式
 膜分離…膜分離処理方式
 一次処理…一次処理後に下水道に放流

注2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m³/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

区 分	浄 化 槽 設 置 基 数				
規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設 置 数	67,454	773	110	95	68,432

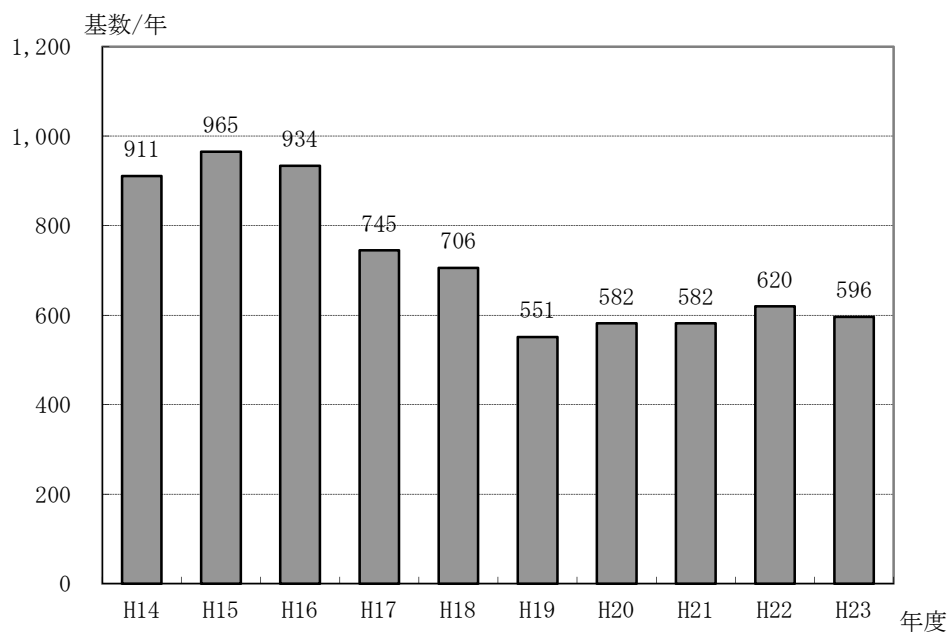


図6-4 浄化槽設置基数（個人設置型）の推移

7. 一般廃棄物処理事業の実態

7-1 廃棄物処理事業経費の概要

(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要

県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

平成 23 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 11,860,244 千円であり、前年より約 45%減少している。経費の内訳はごみ処理が 10,086,620 千円、し尿処理が 1,773,624 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

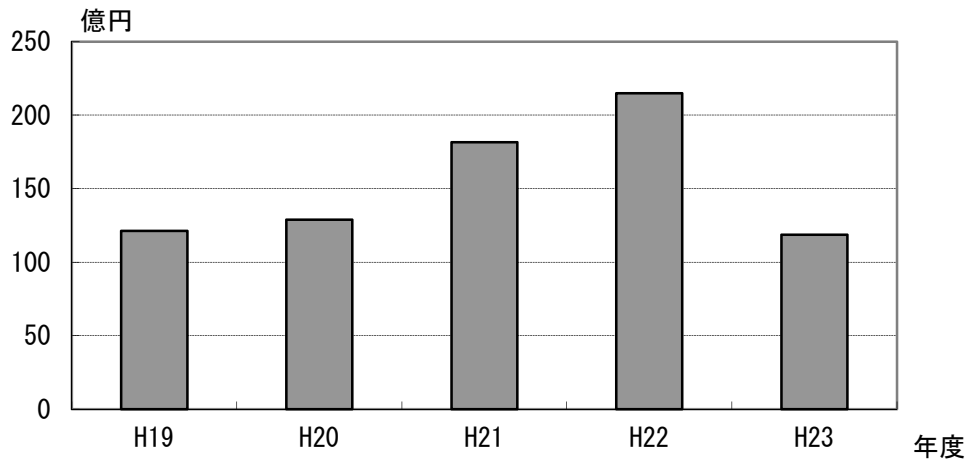


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(県全体)

(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、地区別の内訳を図 7-5 に示す。

地区別におけるごみ処理経費は、浜田地区が 3,585,001 千円 (35.5%) と最も多く、次いで松江地区 3,302,269 千円 (32.7%)、出雲地区 2,644,637 千円 (26.2%)、隠岐地区 554,713 千円 (5.5%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(県全体)

(平成 23 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び 手数料	(市町村分担金)	その他		
ごみ	46,945	19,360	314,300	2,056,191	1,877,589	1,160,579	6,489,245	10,086,620
し尿	85,789	0	38,200	236,250	380,546	41,811	1,371,574	1,773,624
計	132,734	19,360	352,500	2,292,441	2,258,135	1,202,390	7,860,819	11,860,244

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(県全体)

(平成 23 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費										その他	合計		
	工事費				調査費	〔組合 分担金〕	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				〔組合 分担金〕			調査 研究費	小計
	収集運搬	中間処理	最終処分	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	490,459	172,459	45,855	0	241,916	708,773	1,713,324	66,754	1,032,998	148,065	33,945	2,138,554	3,240,997	238,788	49,374	1,635,673	16,763	8,679,562	698,285	10,086,620
し尿	0	258,578	0	630	2,940	1,595	262,148	301,081	9,678	586,597	0	0	57,297	465,783	4,591	11,867	378,951	5,431	1,442,325	69,151	1,773,624
計	0	749,037	172,459	46,485	2,940	243,511	970,921	2,014,405	76,432	1,619,595	148,065	33,945	2,195,851	3,706,780	243,379	61,241	2,014,624	22,194	10,121,887	767,436	11,860,244

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

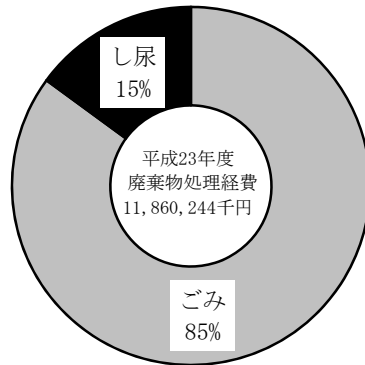


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳(県全体)

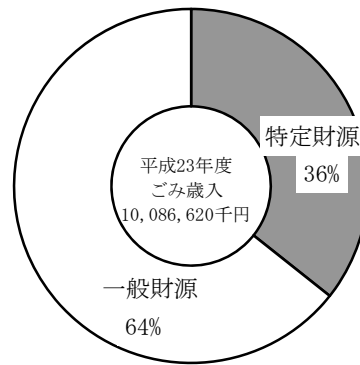


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(県全体)

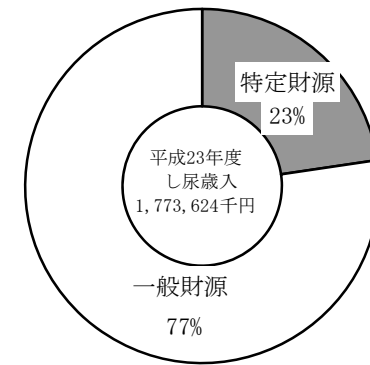


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳(県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村) (平成 23 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び 手数料	その他		
ごみ	46,945	19,360	314,300	1,826,633	1,119,924	6,404,482	9,731,644
し尿	85,789	0	38,200	190,088	31,802	1,350,407	1,696,286
計	132,734	19,360	352,500	2,016,721	1,151,726	7,754,889	11,427,930

表 7-4 歳出の内訳(市町村) (平成 23 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				組合 分担金	調 査 研 究 費			小計
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	245,819	172,459	44,721	0	241,916	704,915	1,456,333	64,555	784,226	139,577	33,945	1,967,809	2,141,489	231,710	43,749	1,635,673	3,597	8,502,663	524,066	9,731,644
し尿	0	227,729	0	630	0	1,595	229,954	190,485	0	403,002	0	0	54,383	397,486	0	11,867	378,951	1,289	1,437,463	28,869	1,696,286
計	0	473,548	172,459	45,351	0	243,511	934,869	1,646,818	64,555	1,187,228	139,577	33,945	2,022,192	2,538,975	231,710	55,616	2,014,624	4,886	9,940,126	552,935	11,427,930

表 7-5 歳入の内訳(事務組合) (平成 23 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び 手数料	市町村分担金	その他		
ごみ	0	0	0	229,558	1,877,589	40,655	84,763	2,232,565
し尿	0	0	0	46,162	380,546	10,009	21,167	457,884
計	0	0	0	275,720	2,258,135	50,664	105,930	2,690,449

表 7-6 歳出の内訳(事務組合) (平成 23 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費																調査 研究費	小計	その他	合計
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費								
	収集 運搬	中間処理	最終処分	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	244,640	0	1,134	0	245,774	256,991	2,199	248,772	8,488	0	170,745	1,099,508	7,078	5,625	13,166	1,812,572	174,219	2,232,565	
し尿	0	30,849	0	0	2,940	33,789	110,596	9,678	183,595	0	0	2,914	68,297	4,591	0	4,142	383,813	40,282	457,884	
計	0	275,489	0	1,134	2,940	279,563	367,587	11,877	432,367	8,488	0	173,659	1,167,805	11,669	5,625	17,308	2,196,385	214,501	2,690,449	

表 7-7 地区別ごみ処理経費の歳入の内訳（地区別）（平成 23 年度, 単位：千円）

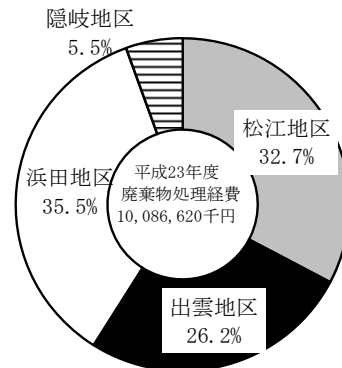
歳入	特 定 財 源						一般財源	合計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
松江地区	0	2,126	61,400	805,200	0	378,336	2,055,207	3,302,269
出雲地区	0	17,234	168,500	746,929	421,996	391,370	1,320,604	2,644,637
浜田地区	46,945	0	55,200	409,152	1,455,593	370,449	2,703,255	3,585,001
隠岐地区	0	0	29,200	94,910	0	20,424	410,179	554,713
合計	46,945	19,360	314,300	2,056,191	1,877,589	1,160,579	6,489,245	10,086,620

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 地区別ごみ処理経費の歳出の内訳（地区別）（平成 23 年度, 単位：千円）

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	(組合) 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				(組合) 分担金	調査 研究 費			小計
	収集運搬	中間処理	最終処分	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
松江地区	0	43,730	9,821	0	0	0	53,551	676,502	16,738	131,659	67,144	33,416	858,651	1,290,662	15,468	14,969	0	3,597	3,108,806	139,912	3,302,269
出雲地区	0	38,603	126,170	45,855	0	0	210,628	343,866	10,632	543,427	46,053	0	614,484	557,802	78,400	32,976	421,996	0	2,227,640	206,369	2,644,637
浜田地区	0	290,893	32,005	0	0	241,916	322,898	523,225	19,942	291,383	23,976	529	636,096	1,276,920	135,506	733	1,213,677	13,166	2,921,476	340,627	3,585,001
隠岐地区	0	117,233	4,463	0	0	0	121,696	169,731	19,442	66,529	10,892	0	29,323	115,613	9,414	696	0	0	421,640	11,377	554,713
合計	0	490,459	172,459	45,855	0	241,916	708,773	1,713,324	66,754	1,032,998	148,065	33,945	2,138,554	3,240,997	238,788	49,374	1,635,673	16,763	8,679,562	698,285	10,086,620

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図 7-5 地区別の内訳

7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。
平成 23 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 312 人である。
内訳は、ごみ処理が 269 人、し尿処理が 43 人である。

表 7-9 従事職員の状況 (単位:人)

区 分	ご み		し 尿		合 計		総 計	
	市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一般職	事務系	129	11	9	5	138	16	154
	技術系	35	12	10	9	45	21	66
技能職	収集・運搬	43	0	0	0	43	0	43
	中間処理	19	13	6	0	25	13	38
	最終処分	6	0	0	0	6	0	6
	その他	1	0	4	0	5	0	5
合 計		233	36	29	14	262	50	312

7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。
平成 23 年度末における委託・許可件数は市町村では 341 件、事務組合では 51 件である。

表 7-10 委託・許可件数の状況 (単位:件数)

区 分	市町村		事務組合	
	委託業(法第6条)	許可業(法第7条)	委託業(法第6条)	許可業(法第7条)
ごみ	90	17	17	34
	180	34		
し尿	4	0	0	0
	67	0		
合 計		341	51	

7-4 一般廃棄物処理業者等関係

平成 23 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11、12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	ごみ	し尿	合 計
業者数	144	47	184

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	収集運搬	中間処理	最終処分	合 計
従業員数	1,729	415	29	2,156

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設（PFI 事業施設含む）のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵方式	ダイオキシン類濃度測定値 (ng-TEQ/Nm ³)				
		H23 年度調査結果	H22 年度調査結果	H21 年度調査結果	排出基準	備考
松江市 エコクリーンセンター	BF	0.00088 0.000087 0.0022	—	—	1.0	
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	0.23 0.17	0.047 0.32	0.24 0.14	5.0	
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	0.0010 0.0000014	0 0.00059	0.000075 0.000022	0.1	
邑智郡総合事務組合 笹畑クリーンセンター	BF	0.32	2.3	0.9	10	
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BF	0.0046 0.0031	0.0045 0.0064	0.0011 0.0062	1.0	
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BF	0.00070 0.00000015	0.0014 0.0000052	0.0033 0.0000014	5.0	
隠岐の島町 清掃センター	BF	1.5	1.1	3.5	10	
海士町 海士町清掃センター	BF	0.11	0.13	0.14	5.0	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	0.81	0.48	0.37	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター (RDF)	MC・BF	0.036	0.089	0.064	—	ごみ燃料 化施設
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	8.2	1.0	1.9	10	

注) 集塵方式において、MC=マルチサイクロン、BF=バグフィルター、*=二次燃焼重力沈降方式。

資料：島根県廃棄物対策課「大気基準適用施設の設置者による測定結果」